

人を対象とする医学系研究についての「情報公開文書」

研究課題名：
間質性肺炎における酸素療法の有用性の検討

・はじめに

間質性肺炎は肺が傷ついたり傷が治る途中で肺が硬くなったりして様々な程度の低酸素血症を起こす疾患です。低酸素血症は呼吸困難として自覚されますが、その症状を和らげるために一般的には酸素療法を行います。同じように肺が傷ついて呼吸困難になる病気には喫煙が原因の慢性閉塞性肺疾患(COPD)がありますが、COPD では安静時の呼吸困難に対して酸素療法を行うと、生存期間の延長を期待できることがわかっています。一方、間質性肺炎ではそのような効果を調べた研究が少ないため、酸素療法がどのように有効かは定かではありません。そこで、当院を受診された患者様を対象に後方的に臨床経過を検討しようと考えております。

こうした研究を行う際には、血液、組織、細胞など人のからだの一部で、研究に用いられるもの(「試料」といいます)や診断や治療の経過中に記録された病名、投薬内容、検査結果など人の健康に関する情報(「情報」といいます)を用います。ここでは、既に保管されているこうした試料や情報の利用についてご説明します。

・研究に用いる試料や情報の利用目的と利用方法(他機関に提供する場合にはその方法を含みます)について

群馬大学医学部附属病院で行った過去の患者様の背景(年齢・性別)・血液検査データ・画像・生理機能データ、治療効果を調べます。

・研究の対象となられる方

群馬大学医学部附属病院において2008年1月4日から2020年5月31日まで間質性肺炎と診断され、在宅酸素療法を受けられた方のうち、約300名を対象に致します。

対象者となることを希望されない方は、相談窓口(連絡先)まで2020年9月30日までにご連絡ください。希望されなかった方の情報は、研究には使用しません。対象となられる方が未成年であったり十分な判断が難しい場合や亡くなっている場合は、代諾者からの申し出も受け付けます。代諾者は研究対象者の配偶者、父母、兄弟姉妹、子・孫、祖父母、同居の親族又はそれら近親者に準ず

ると考えられる者（未成年者を除く）とします。

・研究期間

研究を行う期間は医学部長承認日より 2025 年 5 月 31 日までです。

・研究に用いる試料・情報の項目

患者さんの背景、過去の血液検査データ(一般的な検査項目と自己抗体、間質性肺炎マーカー、血液ガス検査)・CT 画像・生理機能データ(呼吸機能検査、6 分間歩行距離)、経皮的動脈血酸素飽和度、治療に用いた酸素流量、酸素療法以外の治療法(内服薬、吸入薬、注射薬、リハビリテーションの有無など)、生存期間を調べます。

・予想される不利益(負担・リスク)及び利益

この研究を行うことで患者様に日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。また、本研究により被験者となった患者さんが直接受けることのできる利益及び不利益(リスク)はありませんが、将来研究成果は間質性肺炎の解明及び新しい治療法や診断法の発見の一助になり、多くの患者様の治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・個人情報の管理について

個人情報の漏洩を防ぐため、群馬大学呼吸器・アレルギー内科においては、個人を特定できる情報を削除し、データのデジタル化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を閲覧することができないようにしています。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者様を特定できる情報は含まれません。

・試料・情報の保管及び廃棄

研究データは、呼吸器・アレルギー内科研究室の鍵付きの保存庫で相川 政紀(管理責任者)が責任をもって外部と遮断したパソコンで保管し、研究終了 10 年後、個人を識別できる情報を取り除いた上で機密文書として破棄いたします。

・研究成果の帰属について

この研究により得られた結果が、特許権等の知的財産を生み出す可能性があります。その場合の特許権等は研究者もしくは所属する研究機関に帰属することになり、あなたにこの権利が生じることはありません。

・研究資金について

この研究は、呼吸器・アレルギー内科グループが主体となって行っています。研究費は呼吸器・アレルギー内科の研究費によってまかなわれます。

・利益相反に関する事項について

研究グループが公的資金以外に製薬企業などからの資金提供を受けている場合に、臨床研究が企業の利益のために行われているのではないか、あるいは臨床研究の結果の公表が公正に行われられないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）などといった疑問が生じることがあります。これを利益相反（患者様の利益と研究グループや製薬企業などの利益が相反している状態）と呼びます。この研究の利害関係については、群馬大学利益相反マネジメント委員会の承認を得ております。また、この研究過程を定期的に群馬大学利益相反マネジメント委員会へ報告などを行うことにより、この研究の利害関係について公正性を保ちます。研究分担者である福島康宏はシーメンス株式会社より寄附講座の収益があります。福島はデータ管理、モニタリング、統計・解析に關与する業務には従事いたしません。

・「群馬大学 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会」について

この研究を実施することの妥当性や方法については、多くの専門家によって十分検討されています。群馬大学では人を対象とする医学系研究倫理審査委員会を設置しており、この委員会において科学的、倫理的に問題ないかどうかについて審査し、承認を受けています。

（ホームページアドレス：<https://www.rinri.amed.go.jp/>）

・研究組織について

この研究は、当院の呼吸器・アレルギー内科が主体となって行っています。

この研究を担当する研究責任者、研究分担者は以下のとおりです。

研究責任者

職名：群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科 診療教授

氏名：前野 敏孝

連絡先：027-220-8000

研究分担者

職名：群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科 医員

氏名：相川 政紀
連絡先：027-220-8000

研究分担者

職名：群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科 医員
氏名：山口 公一
連絡先：027-220-8000

研究分担者

職名：群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科 病院講師
氏名：原 健一郎
連絡先：027-220-8000

研究分担者

職名：群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科 医員
氏名：佐藤 麻里
連絡先：027-220-8000

研究分担者

所属・職名：核医学科・画像診療部 教授
氏名： 対馬 義人
連絡先：027-220-8401

研究分担者

所属・職名：応用画像医学 特任准教授
氏名： 福島 康宏
連絡先：027-220-8401

・ 研究対象者の権利に関して情報が欲しい場合あるいは健康被害が生じたときに連絡をとるべき相談窓口について

研究対象者がこの研究および研究対象者の権利に関してさらに情報が欲しい場合、または研究対象者に健康被害が発生した場合に、研究対象者が連絡をとる担当者は下記のとおりです。何かお聞きになりたいことがありましたら、どうぞ遠慮なくいつでもご連絡ください。

試料・情報を研究に用いることについて、対象者となることを希望されない

方は、下記連絡先までご連絡下さい。研究対象者とならない場合でも不利益が生じることはありません。

【問合せ・苦情等の相談窓口（連絡先）】

連絡先：〒371-8511

群馬県前橋市昭和町 3-39-15

Tel：027-220-8000

群馬大学医学部附属病院呼吸器・アレルギー内科

担当：相川 政紀

上記の窓口では、次の事柄について受け付けています。

- (1) 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法 他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。
- (2) 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続（手数料の額も含まれます。）
- (3) 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明
- (4) 研究対象者から提供された試料・情報の利用に関する通知
 試料・情報の利用目的および利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）
 利用し、または提供する試料・情報の項目
 利用する者の範囲
 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称
 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること、およびその求めを受け付ける方法